

国際婦人デー3・5東京集會に寄せられたメッセージ

ギリシャ共和国からのメッセージ

不公正な資本主義と衝突し社会主義をめざして闘おう

ギリシャ共産党中央委員会国際関係部

同志諸君

国際婦人デーのための諸君のイニシアチブにわれわれからのあいさつを送る。今年の婦人デーは、労働者にとってきわめて困難な状況で行なわれようとしている。

世界の諸人民は、感染拡大の間、重い代償を払ってきた。健康が商品に変えられ、有効な保護措置が不足し、資本家の利潤のために健康が犠牲にさせられたためである。諸人民は、現在、深刻な経済危機の影響に直面している。感染拡大で貧困が悪化しているその時に、最も富裕な一〇人は、その富を倍増させた。

搾取と不平等、戦争、それらが再び戻ってきたのを、われわれは、ヨーロッパにおいて、ソビエト連邦の倒壊後に眼にしているわけだが、それらは、資本主義体制の申し子であり、資本主義体制の遺伝子に書き込まれているのである。

ロシアによるウクライナへの軍事介入と侵略は、影響力の範囲と市場の分け前、原材料、エネルギー、輸送路を求める対立が激化した結果である。

一方に、合衆国とNATO（北大西洋条約機構）、EU（欧州連合）がいて、長年にわたり、ロシアの軍事的包囲を推進してきて、ウクライナの反動的政府とファシスト集団を支援している。

他方には、資本主義ロシアがいて、旧ソ連領内の資本主義的統合という独自の計画を推進している。

わが党は、わが国が帝国主義戦争から離脱することを求めて闘っている。合衆国とNATOの基地を閉鎖して、わが国が加害者にも犠牲者にもならないよう求めている。

われわれは、軍拡競争と軍国主義の隆盛、核兵器をめぐる議論について注視している。核兵器をめぐる議論は、諸君の国、日本でも激化している。

われわれは、婦人の平等と婦人解放を求め、労働者の権利を求め、軍国主義と核兵器、合衆国の軍事基地に反対する諸君の闘いへの連帯を表明する。

独占のための流血を食い止められるよう、諸人民は、不公正な資本主義体制と衝突し、社会主義をめざして闘わなければならない。

同志としてのあいさつを送る。

二〇二二年三月五日

（見出しは編集部による）

【訳＝杉本芳夫】

（『思想運動』1075号 2022年4月1日号）